

□発行日：平成 29 年 3 月

□編集・発行：国立大学法人 大分大学 男女共同参画推進室

□連絡先：

〒870-1192 大分県大分市大字旦野原 700 番地 TEL(097)554-8573

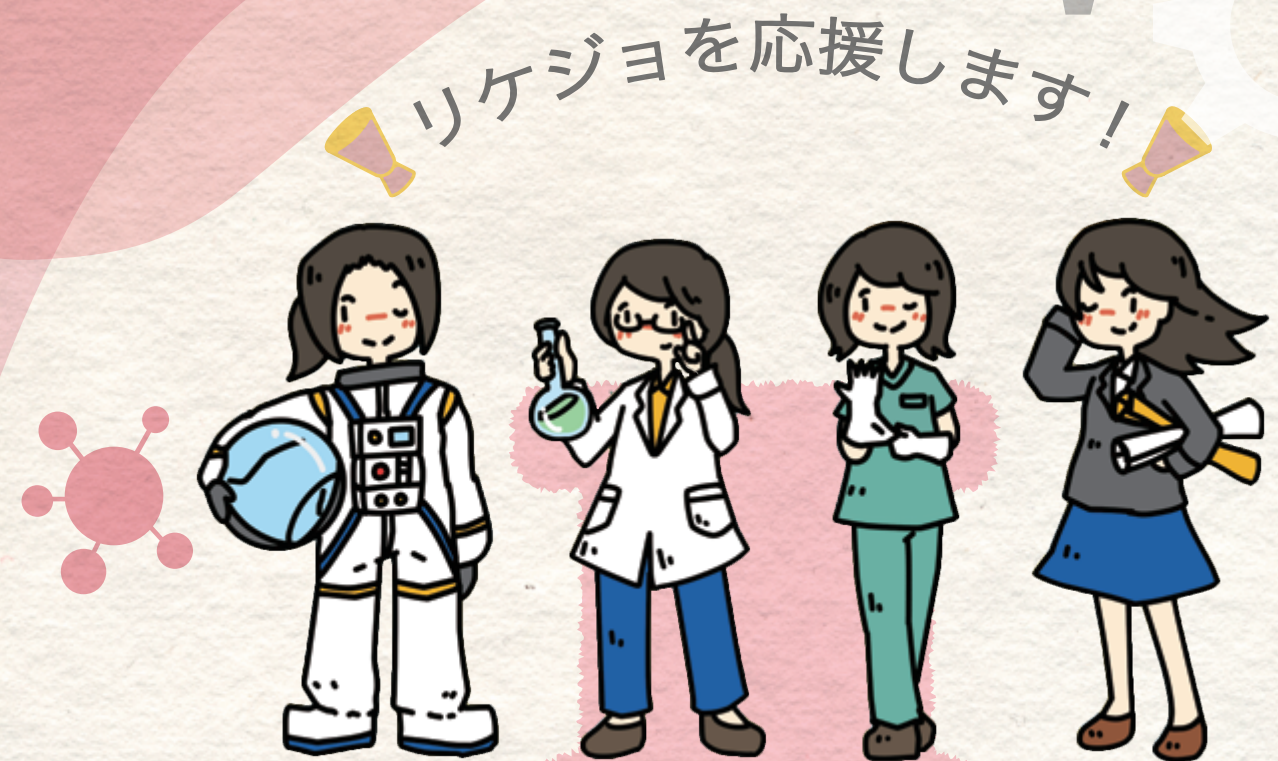
〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1 丁目 1 番地 TEL(097)586-6347

E-mail fsupport@oita-u.ac.jp

<http://www.fab.oita-u.ac.jp>



デザイン：株式会社イマジン



国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)  
平成 28 年度「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」

母と娘のこころを揺さぶる現場体験  
躍動するリケジョとの  
「一生忘れない」能動学習  
Fabulous Academics at Bundai

成果報告書  
2016



大分大学は、教職員・学生が男女等しくその能力を十分に発揮して活躍できる大学をめざしています。

大分大学 男女共同参画推進室  
イメージキャラクター FAB (ふあぶ) 子ちゃん



## CONTENTS

- けんせつ小町委員会 女性技術者に聞く  
建設中のダム工事現場を訪問しました  
伊良原ダム工事現場訪問 ..... P.03
- 実験体験会を開催しました
  - 実験体験会 in 大分大学 ..... P.05
  - 実験体験会 in 大分高専 ..... P.07
- 第4回 科学の甲子園ジュニア大分県大会エキシビション ..... P.09
- 企業の女性役職者を講師としたダイバーシティ講演会 ..... P.10  
旭化成株式会社人事部 ダイバーシティ推進室課長 吉澤明美さんによる講演会
- 中学と高校訪問講義型の座談会 ..... P.11
  - リケジョの皆さん ..... P.13
  - アンケート自由記述・アンケート集計結果 ..... P.15
  - 今回の取り組みのこだわり点！ ..... P.16
  - TOPICS ..... P.17
  - 事業実施者・協力者一覧 ..... P.18

## 『心に刻むことができたでしょうか』



大分大学副学長(広報・男女共同参画推進担当)  
男女共同参画推進室 室長 松浦 恵子

## MESSAGE

大分大学には、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会を実現するため、「大分大学 男女共同参画推進室 FAB」があります。

近年、リケジョという言葉もかなりあたりまえに使われるようになりました。今ではそのほかに「ドボジョ」「ノケジョ」「メカジョ」など「〇〇ジョ」が増えてきました。女性の人数が今まで少なかった分野に女性の力を活用しようとする大きな流れがあるからではないかと思います。FABでは設立当初から次世代の女性研究者(リケジョを含む研究者)を応援してきました。平成27年度には科学技術振興機構(JST)による「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」事業に応募して採択され『母と娘のものづくり理科学部からの招待状』を届けました。

そして今年度から2年間は、『母と娘のころを揺さぶる現場体験— 躍動するリケジョとの「一生忘れない」能動学習』が採択され、引き続きリケジョを応援する事業を行っています。佐賀大学の男女共同参画推進室、大分工業高等専門学校、そして大分県教育委員会とともに、女子高校生・中学生と母親(保護者)の皆様を対象に、体験することを通して、理系を選択する意味や魅力をお伝えしています。皆様のところに焼き付くような現場体験となったでしょうか。そう問かけると同時に、この1年間、皆様に心揺さぶる体験を届ける立場の私たちの心が、皆様のきらきらした瞳や驚きの声に、逆に揺り動かされていることを告白いたします。

ご参加くださった多くの皆様に深く感謝申し上げます。

来年度もさらにパワーアップしてリケジョそしてすべての女子中高生の皆様の未来が明るく輝くものとなるように活動して参りたいと思います。どうか引き続き、ご理解とご協力をいただき、一人でも多くの方々との素敵な出会いがありますように願っています。



# 建設中のダムの工事現場を訪問しました。

12月10日(土)



実施



大分大学

アクティブラーニング型フィールドワークとして、現在、建設途中の伊良原ダム(福岡県京都郡)の建設現場を女子高校生と保護者が訪問しました。現場の見学を行い、そこで活躍する女性技術者に直接話を聞くことができました。

建設途中のダムの広大な現場の見学では、24時間体制で作業が行われているコンクリートの堤体の見学や、完成後はダムに沈む区域の説明などもあり、どれも今しか見学できないものばかりで貴重な体験となりました。

現場で唯一の女性技術者 手嶋菜美さんから、日々の業務内容の説明や進学した大学の工学部で土木工学を学び、知識を活かせる今の仕事に就職した動機などの話の後、ダムの強度計算問題にも挑戦しました。

建設現場で活躍する女性技術者に普段接する機会がないため、大変新鮮な体験で、専門性を活かしてイキイキと活躍する女性技術者は、とてもまぶしく感じられました。

見学を受け入れてくださいました(一社)日本建設業連合会「けんせつ小町委員会」、並びに(株)大成建設の皆様に感謝いたします。

「けんせつ小町」とは

建設業で活躍する  
女性技術者・技能者の  
愛称です。



大  
成  
建  
設  
に  
倒  
入  
！

女子高生の

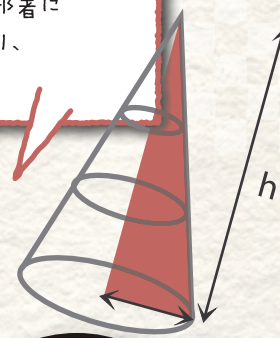
声

- ・実際にダム建設の現場で仕事をしている女性の話がとても参考になった。
- ・普段できないような体験ができてよかった。
- ・女性技術者が実際に働いていて、どう思うかを話してくれた点が参考になった。

保護者の

声

- ・女性が専門性を持ち、成長して知識を身につけ、多様性をもって長く働くことは素晴らしいと思った。
- ・日頃できない体験をさせていただいた。また、はじめに考えていたよりも子どものこれからを考える上で具体的に参考になる内容だった。
- ・開発だけでなくいろいろな部署に理系の人がいることがあかり、よかった。



講演会

住友化学(株)大分工場レスポンスブルケア部  
(環境安全)化学品担当課長 なかやま みや 中山 美矢さんによる講演がありました。



理系出身の経験談をもとに、その時の状況や時代の流れに沿って進路を選択することも一つの進路決定方法であることなど、主に進路選択についてのアドバイスがあり、「軌道修正は何度でもできる。失敗することを恐れず、いろんなことに挑戦してください。」と、参加者へエールがかけられました。



声

- ・教科書を見るだけでは分からない様々なことを知ることができた。
- ・化学のほうに進んだらこのような実験などができると知ったし、今後の進路の参考にもなった。
- ・化学が楽しいということを知った。
- ・化学反応について詳しく知ることができたので今回の取り組みに参加して良かったと思った。
- ・自分の進路選択の幅が広がり、やってみようと思うことが増えた。
- ・自分で作ることや実験の楽しさや面白さを知り、より関心が高まった。
- ・実際に理系の職業についている方からの話を聞くことができ、自分の進路に対するイメージが具体化した。
- ・自分が最後までつくるということや達成感を味わうことができた。普段経験できないことを経験することができて、とても楽しかった。
- ・初めて参加しました。とても楽しく取り組む姿が見られてよかった。
- ・今回貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。



# 実験体験会 in 大分大学！

12月10日(土)

12月10日(土)大分大学旦野原キャンパスで、工学部の中でも特に女子学生の少ない機械工学、電気工学の分野と、化学の分野で「ものづくり実験」を体験してもらいました。

実験終了後は、ダム見学組も合流して、住友化学大分工場で活躍するリケジョによる講演がありました。



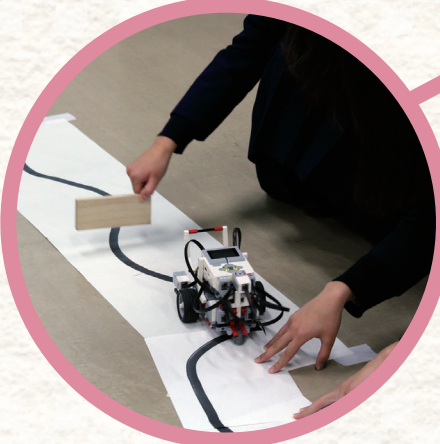
**ロボット制御プログラムを体験しよう！** 〈機械工学コース〉

教育版レゴ「マインドストームEV3」を使って、ロボット制御プログラムを体験しました。

VR(バーチャルリアリティ)体験や、今、話題の3Dプリンターの見学も行いました。



## Robot control programming



工学部機械・エネルギーシステム工学科(機械コース)  
たのう きみとし  
田上 公俊 教授

機械コースではレゴ マインドストームを使ったロボット実習と、最新の3DプリンターとVR（バーチャルリアリティ）のデモを行いました。ロボット実習では各自作成したプログラムでロボットを動かし、機械制御の基礎を体験しました。3DプリンターとVRのデモでは、最新の機械技術を体験しました。今回のイベントを通して「機械工学」に少しでも興味を持てただけならうれしいです。最終的には女性技術者が増えて、魅力的な機械製品を開発し、女性のちからで日本がより元気になることを期待します。

# 電子ピアノと楽譜をプログラミングしよう！

〈電気工学コース〉

電子ピアノを制作して、マイコンで動作させました。



Music program



工学部電気電子工学科(電気コース)  
とだか たかし  
戸高 孝 教授

戸高 孝 教授

電気コースでは「電子ピアノ」の試作とパソコンで楽譜をプログラミングしよう!」と題して、PICマイコンで動作させる電子ピアノを試作し、パソコンで楽譜を入力し鑑賞しました。短い時間しかなかったのですが、皆完成させることができました。実社会の殆どものものはこのような電気電子回路で動作していて、組み込みプログラムで制御しているものが沢山ありますので、イベントに参加していただいた方が今回の体験を通して、自分でも簡単につくれることを実感し、電気電子工学に興味を持ち、もっと深く学んでみたいと思っていただけたら嬉しいです。

## 化学反応を体験しよう！

〈化学コース〉

化学反応を駆使して、きれいなオレンジ色の染料(色素)ができる化学反応を体験しました。

反 だ  
應 ん  
か だ  
ん



工学部応用化学科  
おおが やすし  
大賀 恭 教授

大賞 森永製菓

「ものづくり」を意識して合成実験を企画しました。身の回りの品や医薬品など多くの有用な物質が化学反応によって作られています。薬品の量、加える順番、反応温度などを間違えると反応は上加えられず、手くいきません。今回合成了メチルオレンジも、薬品の加え方によっては、望ましくない反応が起こり、真っ黒になってしまうのですが、全員きれいなオレンジ色の結晶ができました。残念ながら合成了ものは持ち帰りができないので、その代わり記念として、実験で着た白衣を差し上げました。この体験をきっかけに、「白衣の科学者」を目指す人が増えることを期待しています。



Chemical reaction





実験体験会を開催しました。/

## 実験体験会 in 大分高专！

大分工業高等専門学校

〒870-0152 大分市大字牧1666番地 TEL:097-552-6075

9月17日(土)大分工業高等専門学校で中学生と保護者を対象とした実験体験会を開催しました。

機械工学科による「デザートを食べながら体験しよう～ティータイムで考える身近な熱の話題～」、電気電子工学科による「スタンドグラスをつくって、光のふしぎを知ろう！」の2講座を実施しました。

当日は、女子中学生19名、男子中学生3名、保護者等23名の参加がありものづくりの楽しさを体験していただくことができました。

また、女性技術者(高专OG)のお話や、実験の手伝いをした本校女子学生との座談会もあり現役学生の生の声を聞くことができ、理系に触れる良い機会になったようです。

デザートを食べながら体験しよう ～ティータイムで考える身近な熱の話題～ (機械工学科)

温度と味の関係性を知ろう！



Mechanical engineering



スタンドグラスをつくって、光のふしぎを知ろう！

(電気電子工学科)



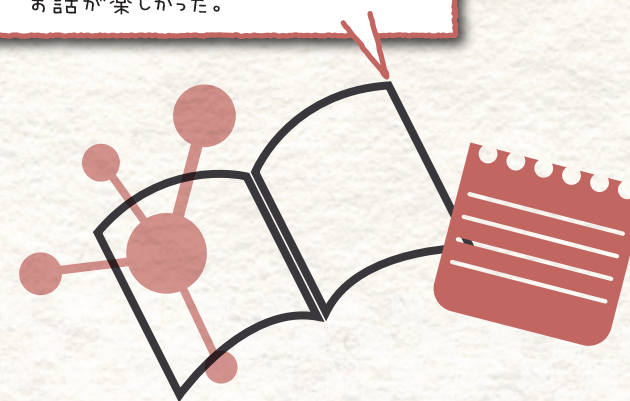
中学生の  
声

Electrical and electronics engineering

- ・光の不思議を知って、もっと不思議について知りたいと思った。
- ・理系に進みたいという気持ちになった。
- ・楽しかったので興味が持てた。楽しかった。
- ・高专に入ってからことやOGの方のお話が楽しかった。

保護者の  
声

- ・理系女子の就職、職場環境に不安があったが、改善されて来ているお話を聞けたので良かった。
- ・理系女子の職業は実験というイメージしかなかったが、色々進路があることを知った。
- ・女子だから文系という意識があったが、高专の女子学生さん達を実際に見て、理系の選択もいいのではないかと考えた。
- ・進む道は娘次第なのですが、理系に進みたいと言ったら応援してあげられると思います。





## 第4回 科学の甲子園ジュニア大分県大会 エキシビション

8月9日(火)大分県教育センターで開催された科学の甲子園ジュニア大分県大会のエキシビションで、科学の好きな女子中学生とその保護者を対象に実験と座談会を開催しました。

お知らせ

第4回科学の甲子園ジュニア全国大会で、大分県チームは、総合成績第2位で、科学技術振興機構理事長賞とトヨタ賞を受賞しました。

01.

### 「試験管はどう動く？」

簡単な実験道具を使って、  
科学の原理を体験し、考えてみましょう。



02.

### 「女性研究者(リケジョ)への道」

大分大学のリケジョ(女性研究者)と  
直接お話してみましょう。



女子中学生の

声

- ・理系は選択肢が広いという点があかった。
- ・理系の楽しさを知ることができた。
- ・参加したことで理系の道に進みたいと思う気持ちが強まった。  
親身に話をしてくださったのでうれしかった。
- ・私は理系が苦手だったので「理系は…」と思っていたけど、この取り組みで「私にも理系はいいかも」と思えるようになった。
- ・理系の良さを知ることができ、身近なことを科学として考えるきっかけになった。

科学の甲子園ジュニアとは

国立研究開発法人科学技術振興機構は、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的として、全国の中学生が都道府県を代表して科学の思考力・技能を競う「科学の甲子園ジュニア全国大会」を創設しました。科学の甲子園ジュニアは、理科、数学などにおける複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、全国の中学生が科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供しています。

(国立研究開発法人科学技術振興機構HPより)

## 企業の女性役職者を講師とした ダイバーシティ講演会



AsahiKASEI

講師 よしざわ あけみ  
旭化成株式会社人事部 ダイバーシティ推進室課長の吉澤明美さん

2017年1月27日(金)、旦野原キャンパスにおいて、大分県内の女子中高生の保護者や先生方を対象に、旭化成株式会社人事部 ダイバーシティ推進室課長の吉澤明美さんによる講演会を開催しました。

旭化成グループでの現在の女性活躍推進の取り組みを挙げ、①女性が男性と同等に活躍できることを目指すこと、②「女性管理職」という枠にとらわれずに優秀な人材を登用しながらも、ロールモデルが少ない女性社員については管理職になるまでサポートを行うこと、③育児と仕事の両立支援については、男女とも「普通に」仕事ができることを目指して支援を行うこと、また、旭化成におけるリケジョの業務や、女性が活躍できる企業の取り組みを紹介いただきました。

声

- ・S46年生まれの私が子供へ進路のアドバイスをするのは間違った道をすすめる可能性があると思った。  
今日は講演を聞いて良かった。
- ・私の時代と全く違って今現在の考え方など新しいことをたくさん教えていただきました。
- ・理系の勉強をしておけば技術系、事務系etc…オールマイティに活躍できる可能性がある。
- ・理系科目が苦手なだけで文系に進むことを決めているが努力次第、意識次第で理系でもやっていけるのではないかと思った。
- ・女性を受け入れる側の男性上司、会社の意識が時代とともに向上していることが分かった。
- ・業務の選択の幅広さがあることが理解できた。





# 中学と高校訪問講義型の座談会

文理コース分けする前の時期に、女子生徒とその保護者（お母さん）、そして進路指導教諭を対象とした男女共同参画入門講義と、女性研究者を交えた座談会を大分県、福岡県、長崎県の離島の計5箇所で開催しました。

7月13日  
佐伯文化会館  
参加157名



声

- ・理系が「想像していたものとは違い、やりたいことがみつかった。」
- ・理系の方の実際の話が聞けたのでよく分かった。
- ・理系のことを考えていなかったから考えるきっかけになった。
- ・理系に進むとどのような職業に就けるか知ることができた。
- ・何か苦手だから理系に行くのをやめようと思わない。理系は研究ばかりではないことや理系に進んだらどんなことをするのか分かった。
- ・理系に進みたいと思っていたので、すべての話が参考になったから。
- ・理系の中でも研究などだけが「仕事で」はないという点が参考になりました。
- ・理系についての考え方が変わった。

声

- ・実際に大学院生から話を聞くことができてとても参考になりました。
- ・理系に進むとどのような職業につけるのか具体的に分かった。
- ・女学生でも技術者として活躍している人がある点が参考になりました。
- ・理系、文系を得意不得意で決めるのではないということがあった。
- ・参加してよかった。やっぱり最初は質問ばかりで「大分だ」と改めて分かったのいろいろな質問したい。

保護者

- ・自分自身も工学部だったのですが、20年前と比べて女学生が「働きやすくなっていると感じた。」
- ・看護＝理系とらえていたのですが、工学部等、他の理系の道もあるのだと分かったのは良かった。

大分大学 医学部 おおした はるみ 准教授  
まだまだ夢や将来の目標を明確に持つことができません。悩んでいる生徒さんも多くいます。情報社会と言えども、情報が溢れすぎて余計です。そのため、今回のような大学院生や理系研究者からの実体験を基にした話を直に経験になったのではないかと思います。皆さんの夢を応援しています。

8月27日  
西南女学院  
中学校・高等学校  
15名



佐賀大学 AnaさんDNA抽出実験  
+大分大学工学部 齋藤先生  
スターリングエンジン



声

- ・最後の大学の先生との座談会でいろいろな学部についてきけてよかった。
- ・普段聞くことのできない学生生活や勉強のアドバイスを聞くことが出来ました。

保護者

- ・理系学部へ所属することでどのような進路に進んだりすることが出来るか知ることができた。

10月22日  
長崎県立  
壱岐高等学校  
40名



佐賀大学 Anaさん英語で発表



声

- ・理系に進むとどのような職業に就くことができるのか分かった。
- ・理系での職業の幅がよく分かった。
- ・座談会で自分の得意・不得意について相談できた。
- ・「知っている→やりたいことは見つかる」
- ・視野を広げたいと思った。

保護者

- ・座談会の時間をもう少し長めにとってほしいです。
- ・理系や学部のことだけでなく、大学生活のことも聞くことができた。

8月2日  
九州産業大学付属  
九州高等学校  
68名



声

- ・実際に大学院生から話を聞くことができてとても参考になりました。
- ・理系に進むとどのような職業につけるのか具体的に分かった。
- ・女学生でも技術者として活躍している人がある点が参考になりました。
- ・理系、文系を得意不得意で決めるのではないということがあった。
- ・参加してよかった。やっぱり最初は質問ばかりで「大分だ」と改めて分かったのいろいろな質問したい。

保護者

- ・自分自身も工学部だったのですが、20年前と比べて女学生が「働きやすくなっていると感じた。」
- ・看護＝理系とらえていたのですが、工学部等、他の理系の道もあるのだと分かったのは良かった。

12月3日  
福岡工業大学附属  
城東高等学校  
43名



佐賀大学 AnaさんDNA抽出実験  
+大分大学工学部 堤先生  
スターリングエンジン



声

- ・理系の人の生活スタイルや就職先が参考になりました。
- ・大学を卒業してからのことも視野に入れ進路選択をしていこうと思った。
- ・座談会で様々な意見を聞くことができて良かったです。
- ・リケジョの活躍の幅の広さがわかった。
- ・実際に社会で活躍されている方や大学院の方の話を直接聞くいい機会になった。

保護者

- ・浅くしか学部・学科のことを知らなかったのに、今日の会で1つの学部でもいろいろなことが学べるということなどが分かった。
- ・DNAの抽出など普段からやらないような実験をすることができてもっとこの分野に興味を持つことができた。
- ・実験が楽しかったです。来年もしてほしい。(実験)



# SCHEDULE

## 2016年度

平成28年度 JST取り組み企画

母と娘のこころを揺さぶる現場体験

ー 躍動する リケジョ との「一生わすれない」能動学習

4月

5月

6月

7月

中学と高校訪問講義型の座談会

7月13日 佐伯文化会館

8月

中学と高校訪問講義型の座談会

8月2日 九州産業大学付属九州高校

科学の甲子園ジュニアエキシビジョン

8月9日

中学と高校訪問講義型の座談会

8月27日 西南学院中学校・高等学校

9月

実験体験会 in 大分高専

9月17日 大分工業高等専門学校

10月

中学と高校訪問講義型の座談会

10月22日 長崎県立杵岐高等学校

11月

12月

中学と高校訪問講義型の座談会

12月3日 福岡工業大学附属城東高等学校

実験体験会 in 大分大学

12月10日 大分大学 旦野原キャンパス

「けんせつ小町委員会」巨大構造物建設現場訪問

12月10日 伊良原ダム(福岡県京都郡)

住友化学(株)中山美矢さんによる講演会

12月10日

2017年1月

企業の女性リーダーとの座談会

1月27日 大分大学旦野原キャンパス

2月

## リケジョの皆さん



大分大学大学院  
工学研究科

森川 邑美さん

私が一番伝えたいことは好きという気持ちや、やりたいという気持ちを大切にしてほしいということです。  
私は理系の学部に進学したい気持ちはありながらも、とにかく数学が苦手でした。  
そんな時、私を支えたのは大学で化学を学びたいという気持ちです。  
どんなことでも真剣に向き合くと、様々な壁にぶつかります。

そんな時、負けそうになる自分を支えてくれるのが左記に書いたような想いです。  
何か打ち込めるようなものをひとつ見つけて、真剣に取り組んでみてください。  
きっと、何らかの道は切り開けると思います。



大分大学大学院  
工学研究科

小野 絢未さん

男子生徒も参加した企画の座談会では、工学部担当だった私のところは、次から次へと質問が飛んできて、話が盛り上がり、女子生徒も絡めて会話ができたので、非常に良かったのではないかと思います。高校生の皆さん、もし自分で、これ好きかも…これしてみたい!という思いが少しでもあれば、ぜひ飛び込んでみてほしいです。

その後どうなるかは、またその時に考えてみてはどうでしょうか?動いたら動いただけ次の選択肢は広がりますし、ましてや好きなことの為なら、ある程度なんでもできると思います。ぜひ、今の気持ちを大切にしてください。



大分大学工学部  
応用化学科 技術補佐員

村上 詩織さん

昨年夏、佐伯鶴城高等学校の女子生徒達と交流させていただきました。その中で気になったのは、理系進学を視野に入れている人のほとんどが、医療系の職に就くことを考えているということでした。医療系は最も身近でイメージしやすいものですが、リケジョの選択肢はそれだけではありません。開発はもちろん、商品企画や営業

など理系の知識・経験を活かせるフィールドは他にもたくさんあります。今回のように先輩リケジョと交流することで、理系進学を迷っている生徒も、自身の将来に対する視野を少し広げることができたのではないかと感じています。



佐賀大学大学院  
農学研究科

阿部 紘乃さん

予想以上に生徒さん達が真剣に話を聞いてくれました。皆さん、文理の選択が今後の自分に大きな影響を与えることを皆さん強く感じているようでした。何を聞けばいいのか困っている生徒さんもいたので、気兼ねなく話せ、大学進学や就職に対し明確なイメージを持っている保護者の方と一緒にの方がより活発に話げできた

のではないかなとも思いました。今回の企画で多くの高校生の方々と話せ、一般的な理系のイメージや、高校生の皆さんが求めている情報は何か以前より知ることが出来ました。



佐賀大学大学院  
農学研究科

後田 夏希さん

杵岐高校の企画に参加しました。高校1年生の時点で自分の進路や就職についても考えている生徒さんもいて、意識の高さに驚きました。私自身、大学に入学してから就職について考え始めたので、そのような早い段階で進路を考えていることに感心しました。

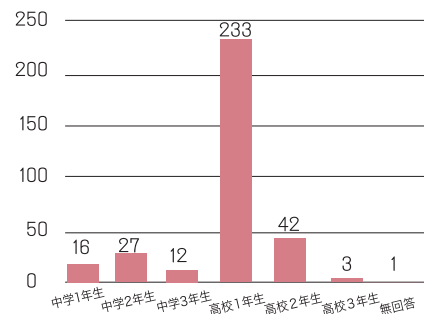
大学院になって、高校生と関わることもあるとは思っていなかったもので、今回このような機会をいただけて、とてもうれしかったです。ありがとうございました。



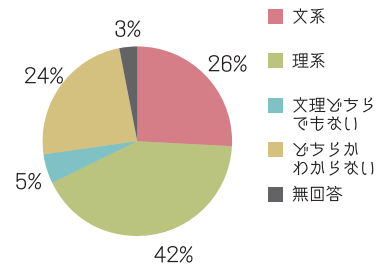
# アンケート集計結果

## 生徒の回答

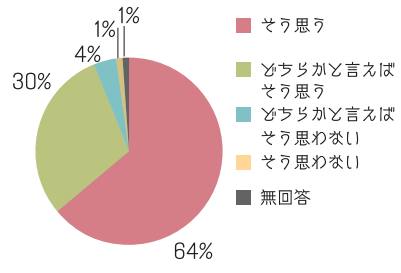
Q1 今現在、何年生ですか？



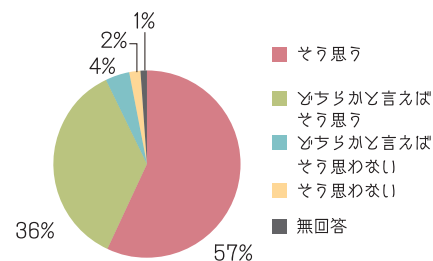
Q2 自分は理系と文系どちらに向いていると思いますか？



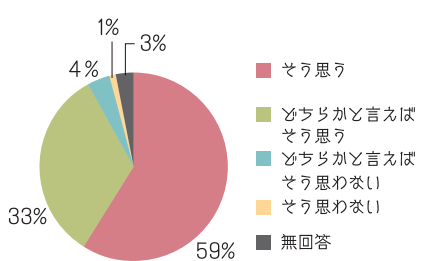
Q3 今回参加した取り組みの内容は面白かったですか？



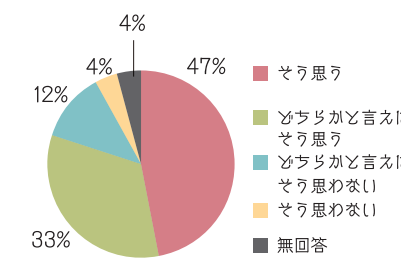
Q4 今回の取り組みは進路選択の参考になりましたか？



Q5 理科や数学を勉強することは、自分の将来のために重要だと思いますか？

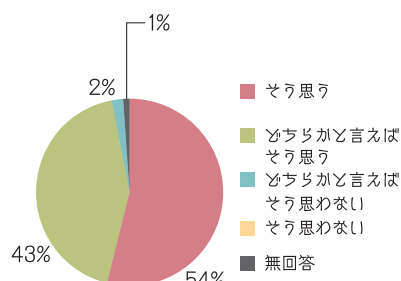


Q6 今後、理系の進路を前向きに選択しようと思うようになりましたか？

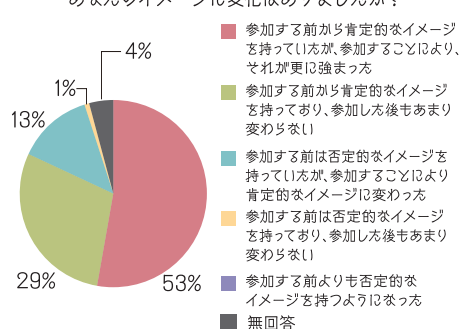


## 保護者(お母さん)・教員の回答

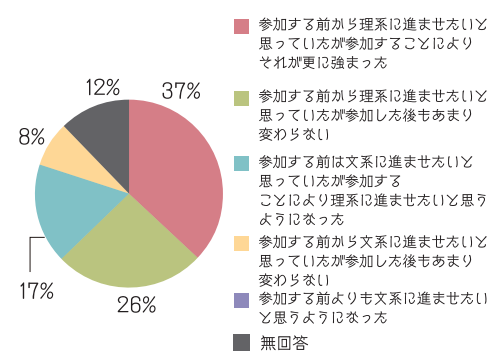
Q1 今回参加された取り組みは面白かったですか？



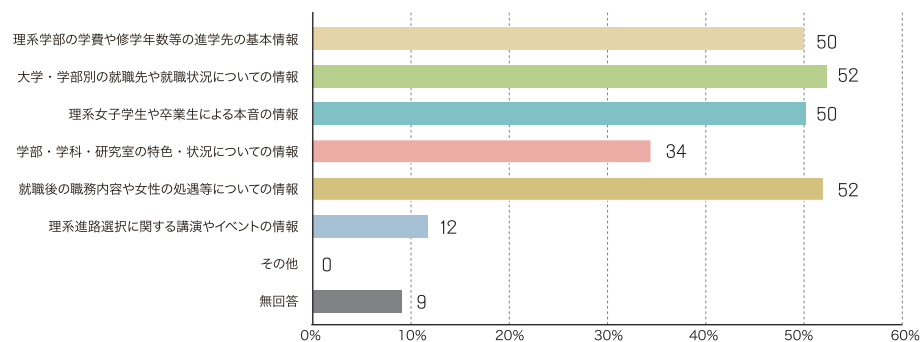
Q2 今回の取り組みに参加したこと、女性が理系の職業に就くことに対するあなたのイメージに変化はありましたか？



Q3 今回の取り組みに参加したこと、お子様を理系に進ませたいと思うようになりましたか？



Q4 女子中高生の理系への進路選択を支援する上で、充実が望まれると考えの情報を教えてください。



# 今回の取り組みのこだわり点！

H27のJST(国立研究開発法人 科学技術振興機構)事業に続いて、H28～H29年度の同事業に採択されました。H28年度は、前年度の知見を踏まえて次の点にこだわった7個の取り組みを女子中高生とお母さんに対して展開しました。

1

大分県教育委員会と連携協定を締結し、さらに、長崎県壱岐市教育委員会の協力を得て、実施しました。具体的には、佐伯市と離島の壱岐市における取り組みについては教育委員会のご助言やご協力を得て実施しています。

2

佐賀大学に加えて、大分工業高等専門学校と新しく連携して実施しました。また、国土交通省、大手企業(大成建設、大林組、旭化成、住友化学)の協力を得て取り組みを実施しました。

3

女子高校生に加えて、女子中学生も対象にした取り組みとしました。高専は中学生に特化し、大学は中学生と高校生に対応しました。女子中学生とお母さんへの働きかけの理由は、前年度の取り組みで、女子高校生の文系志望者には効果がほぼ認められず、中学にさかのぼって理系科目への興味を促す活動が必要と判断したことによります。

4

福岡市の進学校(西南学院中学校・高等学校、福岡工業大学附属城東高等学校、九州産業大学附属九州高等学校)での実施を継続しました。佐賀大学の英国人女性研究者による英語での体験実験を組み込みました。

5

出前講義型の企画の「半分」に体験実験(演示実験でない)を取り入れ、残り「半分」は講演と座談会のみのとする試みを行いました。この比較の目的は、実験の体験が理工系への進学動機に役立つか否かを評価することです。

6

一生忘れない学習としてもらうために巨大なダムの建設現場を監督している女性技術者を訪問し、現場で輝いている働くリケジョを体験する企画を一般社団法人日本建設業連合会「けんせつ小町委員会」の協力を得て実施しました。参加した女子高校生とお母さんの理系進学意識が高まったことをループリック自己評価で確認しました。

7

前年度と同様に、取り組み効果を「ループリック評価」により検証しました。実施前と後で自身の考え方の変遷の度合いを数値として表現してもらう自己評価です。この評価により、上記⑤の体験実験を出前講義の講演に組み合わせることは、中学か高校かによらず、多くの女子生徒とお母さん方の理系進学に対する意識の向上に効果的であることを数値変化として確認しました。

H29年度は、以上の取組の継続に加えて、「働くママ」との会話の場を新しく設けます。子育てしながらキャリアアップを意識して活き活きと働いているリケジョから刺激を得て欲しいと希望しています。  
リケジョ増加のための取り組みを工夫しながら継続していきますので、是非ご参加ください。

大分大学  
学長特別補佐  
(COC+推進担当)  
工学部応用化学科  
いしかわ ゆういち  
教授 石川 雄一

